



おくすりのなまえ

皆さんこんにちは。今回はお薬の名前について少し書かせて頂きます。

実は医薬品には「一般名」、「販売名」、「化学名」と3つもの名前があります。例えば、マイスリー錠は入眠薬として広く用いられているお薬ですが、病院でお薬を仕入れた時に付いてくる説明書を見ると、最初のページの上の方に目立つように太字でこのように書かれています。

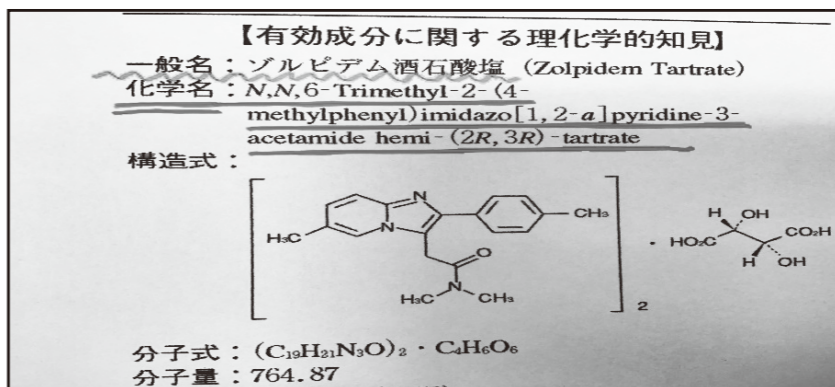
第二十八回

町立下川病院 薬剤師 池田邦寿



参考文献：Astellas製薬 日本薬局方 マイスリー錠 添付文書

3行目に書かれている「ゾルピデム酒石酸塩錠」が一般名になります。その上の「日本薬局方」(医薬品に関する品質企画書)は、この薬が日本薬局方に記載されていることを意味します。4・5行目の「マイスリー」が販売名です。次に、最後のページに書かれている「有効成分に関する理化学的知見」を見てみると構造式の前に「一般名」と「化学名」が書かれています。



参考文献：Astellas製薬 日本薬局方 マイスリー錠 添付文書



化学名はアルファベットや数字などで書かれているのが特徴です。これは化学名がIUPACという国際学術機関によって定められた命名法に従って命名されているからです。IUPACによる命名のしかたは、体系的で合理的です。化学名から化学構造を理解できるように記載されています。



「販売名」は医療関係者や消費者がその医薬品について良いイメージをもつように、製薬企業がいろいろな思いを込めてつけた名前です。商標登録されている名前の中でその医薬品を売る会社が独占的に使用できます。先ほどの「マイスリー」という販売名は、Sleep(眠る)という英語に基づいて、MY SLEEP(マイスリー)より良い睡眠をイメージしています。

「一般名」は世界保健機関(WHO)が決める国際一般名(INN)に基づいて、厚生労働省が決める名前です。日本で新たな化合物を医薬品として承認申請する場合には、薬事・食品衛生審議会日本薬局方部会のなかに設置されている医

薬品名称調査会で「一般名」(JAN)を決めてもらうという取り決めがあります。

最近の我が国の特徴として、ジェネリック医薬品の使用を推奨するという流れがあります。ジェネリック医薬品として販売されるときには一般名のゾルピデム酒石酸塩にジェネリック各社の屋号「〇〇」を付けた名前になります。皆さんが処方箋を頂いたときに一般名「〇〇」であれば〇〇の屋号の製薬会社のジェネリック、一般名だけの場合(町立下川病院の処方箋では【般】一般名)は一般名が同じ、どの製薬会社の薬を調剤してもいいですよということになります。効果はほぼ同一で価格の安くなるジェネリック医薬品、医

療費の削減にも大きく寄与します。数年前に比べ皆さんの処方箋にもジェネリック医薬品や一般名処方薬をよく見かけるようになってきているのではないのでしょうか。

お問い合わせ

町立下川病院

☎・☆4-2039

参考文献：高橋秀依 出口芳春 著
添付文書がちゃんと読める物理・化学
Astellas製薬 日本薬局方
マイスリー錠 添付文書

